

2006年10月6日

平成18年度 冬期総合科目 D. 人間・環境一般
「エネルギー問題・地球環境問題を考える」
ガイダンス資料

実施日： 毎週金曜日5限（16:20-17:50）（最終回1/30のみ火曜日5限）

場所： 1101教室

担当教員： 工学部 システム創成学科 環境・エネルギーシステムコース（システム創成A）
高橋 淳 助教授

連絡先： Email: jun@sunshine.naoe.t.u-tokyo.ac.jp

講義内容： 人類の営みと地球環境の調和、持続可能な社会の構築は21世紀最大の課題であり、これまで発展を遂げてきた現代文明が直面している極めて深刻、かつ人類の存続にかかわる最重要課題である。これらの課題を解決するためには、工学の要素技術や総合技術のみならず、環境・エネルギーの経済学や政策論等の視点も取り入れた総合的・学際的アプローチが必要である。本講義では、エネルギー問題・地球環境問題に関わっている工学部教員の話題提供をもとに、エネルギーと地球環境問題とその解決策を考える。

サイト： <http://www.si.t.u-tokyo.ac.jp/ee/index.html>
↑の総合科目案内の所に、レポート課題などをアップします。

関連講義： 夏学期総合科目、金曜5限（D. 人間・環境一般）環境・エネルギー問題を考える
冬学期総合科目、火曜5限（B. 国際・地域一般）原子力・エネルギーと国際社会
冬学期総合科目、水曜5限（D. 人間・環境一般）地球に生きる
冬学期総合科目、木曜5限（F. 数理・情報一般）持続可能社会実現のための海洋開発

講義予定：

回数	月/日	曜日	教員	タイトル
1	10/6	金	高橋	ガイダンス、エネルギーバランス・持続可能性
2	10/13	金	山富	地球史から見た環境・エネルギー問題
3	10/20	金	徳永	地下環境問題
4	10/27	金	福井	地下空間利用
5	11/10	金	早稲田	地球温暖化は本当に起こっているのか
6	11/17	金	多部田	海洋環境問題
駒場祭	11/24	金		休
7	12/1	金	鈴木(英)	海洋にエネルギー・資源を求める
8	12/8	金	湯原、他	政策実務担当者を交えたパネルディスカッション
9	12/15	金	小川	核融合最前線
10	12/22	金	鈴木(晶)	水素エネルギー最前線
11	1/12	金	田中	核燃料サイクルと放射性廃棄物処理
試験準備	1/19	金		休
12	1/26	金	吉田(好)	環境経済
13	1/30	火	島田	CO2 固定技術

成績評価： 出席点5割、レポート点5割

出席点： 毎回配付・回収する講義アンケートで出席をチェックするので、必ず提出すること（なお、アンケートの内容は成績に反映されないのので、自由に記入してよい）。

レポート： 各教員がレポート課題を提示する（上記の本講義サイトを随時参照のこと）ので、合計2課題を選び、出題教員名を明記して（特に指定のない場合）それぞれA4版3枚以上のレポートとして提出すること。2007年2月5日（月曜日）必着で、指定された宛先にメールの添付ファイルで提出すること（メール宛先やメール以外の提出方法は講義サイト参照のこと）。

以上